

みずほCustomer Desk Report 2018/09/07号(As of 2018/09/06)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	111.29 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.45	1.1635	129.64	1.2918	0.7196
SYD-NY High	111.53	1.1660	129.81	1.2965	0.7211
SYD-NY Low	110.51	1.1606	128.50	1.2897	0.7166
NY 5:00 PM	110.76	1.1624	128.65	1.2928	0.7198
NY DOW	25,995.87	20.88	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	7,922.73	▲ 72.45	日本10年債	0.1000	▲ 1.00bp
S&P	2,878.05	▲ 10.55	米国2年債	2.6391	▲ 1.22bp
日経平均	22,487.94	▲ 92.89	米国5年債	2.7458	▲ 2.36bp
TOPIX	1,692.41	▲ 12.55	米国10年債	2.8776	▲ 2.55bp
シカゴ日経先物	22,410.00	▲ 120.00	独10年債	0.3545	▲ 2.35bp
ロンドンFT	7,318.96	▲ 64.32	英10年債	1.4150	▲ 2.70bp
DAX	11,955.25	▲ 85.21	豪10年債	2.5595	▲ 0.80bp
ハンセン指数	26,974.82	▲ 269.03	USDJPY 1M Vol	6.75	0.10%
上海総合	2,691.59	▲ 12.74	USDJPY 3M Vol	7.50	0.30%
NY金	1,204.30	3.00	USDJPY 6M Vol	7.86	0.21%
WTI	67.77	▲ 0.95	USDJPY 1M 25RR	-1.03	Yen Call Over
CRB指数	189.78	▲ 1.23	EURJPY 3M Vol	9.18	0.23%
ドルインデックス	95.02	▲ 0.16	EURJPY 6M Vol	9.40	0.14%

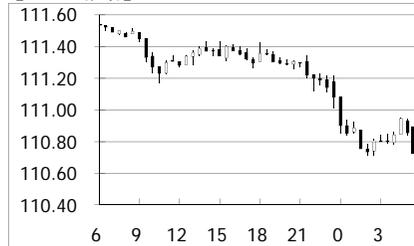
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月6日	10:30	豪 貿易収支	7月 A\$1,551M	A\$1,450M
	21:15	米 ADP雇用統計	8月 163k	200k
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	203k
	22:45	米 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	8月 54.8/54.7	55.2/-
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	8月 58.5	56.8
	23:00	米 耐久財受注(前月比)	7月 -1.7%	-1.7%
	23:00	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁「インフレ圧力は弱く、利上げをさらに急ぐ必要はない」		

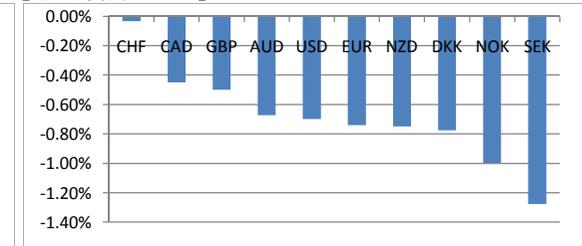
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月7日	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)	2Q 0.4%/2.2%	0.4%/2.2%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	8月 191k	157k
	21:30	米 失業率	8月 3.8%	3.9%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	8月 0.2%/2.7%	0.3%/2.7%
	21:30	米 ローゼングレン・ボストン連銀総裁発言		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00-111.30	1.1550-1.1670	128.00-129.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場のドル円は下落。株が前日に引き続き軟調に推移したことや、米8月ADP雇用統計が市場予想を下回ったこと等を背景にドル円は下落。その後も軟調な推移が継続する中、引けにかけて、米紙がトランプ大統領は対日貿易赤字の是正に取り組もうとしているとの報道を受け、ドル円は一段と下落。結局110.75で引け。本日は、雇用統計次第ではあるものの、週末リスクも意識される中、上値が重い展開を想定。

東京	ドル円はオセアニア時間早朝に高値111.53を示現後、東京時間は111.45レベルでスタート。株式市場が軟調に推移するなか上値の重い展開となり、仲値後には111.17まで下落したものの、押し目買いの圧力は強く、また、片岡日銀審議委員が講演で金融緩和の強化を訴えたことも材料視されたのか、次第に反発を見せ、111.40レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は111.40レベルでオープン。米国の2,000億ドル規模の中国製品に対する追加関税に対する警戒感が依然強い中、明日には米8月雇用統計の発表も控え、ドル円は111円台前半での小幅な動きに終始。結局111.31レベルにてニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は111.31レベルでオープン。朝方は米8月ADP雇用統計が予想を下回り、続いて発表の新規失業保険申請件数は予想ほど増加しなかったものの、明日の雇用統計に対する警戒感が高まる中、ドル円は111.11まで下落。NY10時に発表されたISM非製造業景況指数は予想を上回る結果となり、111.22まで戻すが、対中追加関税のバリエーション期間最終日のため締め切り後すぐにトランプ大統領から何らかの発言があるとの警戒感から、プラス圏で寄り付いたタウが上げ幅を縮小し、マイクス圏へ下落する展開に円買いの展開となり、さらにウィリアムズNY連銀総裁が利上げを急ぐ必要はないと発言したことも伝わり、ドル円は110.84まで下落する。終盤に掛けて、トランプ氏が米紙に対し、次は日本との貿易の争いの公算と示唆したことから、安値110.51まで下落し、110.76レベルでクロスした。一方、独7月製造業受注が予想を下回ったことから海外市場で1.1614まで下落したユーロドルは、1.1630レベルでNYオープン。朝方はADP雇用統計結果を受けたドル売りに1.1655まで戻すが、ロンドンフィックス後に売りが優勢となり、株安でユーロ円も下落する中、1.1606まで下落。NY午後は1.1620付近での推移が暫く続き、1.1624レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 藤巻・田家